

宮沢賢治生誕 120 周年記念作品



舞
楽
詩

BUGAKUSHI

原作 / 宮沢賢治

風の又三郎

この世に生けとし生きるものは、
皆、りっぱな主人公です

2016年 3月 6日 (日) 開演 / 14:00 (開場 / 13:30)

栃木県総合文化センター メインホール

(〒320-8530 栃木県宇都宮市本町 1-8)

チケット
全席指定

3,000 円 (税込)
(車いす席 1,500 円)

★わらび座ファンクラブ会員は通常価格より
10%オフ! (お一人様5枚まで)

チケット
取扱い

- ▶ 栃木県総合文化センタープレイガイド (午前10時~午後7時)
電話予約 028-643-1013
インターネット予約 <http://www.sobun-tochigi.jp/>
- ▶ わらび座関東事務所
電話 048-286-8730
FAX 048-286-8731
e-mail: o-kanto@warabi.or.jp
- ▶ わらび座オンラインチケット専用HP (パソコン用)
<http://www.e-get.jp/warabi/pt>

2015年11月6日(金)午前10時より発売!

【お願い】

- 開演5分前にはご着席ください。
- 会場内では携帯電話の電源を必ずお切りください。
- 会場には駐車場がございません。公共交通機関をご利用ください。

【お問い合わせ】

わらび座関東事務所
電話 048-286-8730
FAX 048-286-8731

舞
楽
詩

風の又三郎

原作／宮沢賢治

あらすじ

人々を翻弄する圧倒的な風を表す太鼓と棒術などを駆使した踊り。「どっどど どどうど」という又三郎を象徴するフレーズが、歌とも呪文ともつかぬ風の息づかいのように人々の願いを飲み込んでいく。

主人公・一郎は言葉にならない思いを抱えていた。未だ知らぬ自然の脅威、自分はどう生きるのか？ 大風が吹き荒れた朝、高田三郎という転校生が現れる。

風、それは未だ知らぬ新たな世界。異質なものととの出会いに揺れる一郎。種山ヶ原の雄大な自然を舞台に、三郎と一郎の出会いが二人の生き方を揺さぶっていく。

民俗芸能、ストンプ、和楽器・洋楽器の生演奏、そして歌。

様々なパフォーマンスが出会い、新たな賢治の世界が広がる。

作・高橋亜子メッセージ

宮沢賢治は私が人生で最初に好きになった作家です。父の故郷が岩手県で身近に感じたためかもしれませんが。東京育ちの私とは作品内で描かれる訛りも自然環境もまるで違うのに、なぜか根っこで繋がっていることを確信できる不思議な感覚がありました。

中でも『風の又三郎』は小学生から現在まで何度となく読み返し、そのたびに感じ方が変わるのを自分の変化として気づかされてきた合わせ鏡のような作品。たった数日間の異質な少年との交わりを通し、大自然を、命を、この世界を、限らない愛しさを込めて描いたこの物語は、言葉より今回のように音楽で表現することこそ相応しいのかもしれませんが。

作品に込められた賢治の底知れぬ想いに、少しでも深く寄り添える作品にしたいと思います。

推薦

日蓮宗

STAFF

脚本/高橋 亜子
序章構成・演出・振付
／長掛 憲司
演出/渡辺 哲
作曲/飯島 優
編曲/沼井 雅之
美術/宮本 博司
照明/大島 祐夫
音響/佐藤亜希子
衣裳/樋口 藍
小道具/平野 忍

使用楽器

和太鼓、尺八、篠笛、箏、三味線、
チャップ、キーボード、フルート、サクソ、
オカリナ、カズー、サウンドチューブ、アンクルン

CAST

※キャストは、変更になる場合があります。ご了承ください。

〈序章〉

けんじ先生/三重野葵
土の神他/森下彰夫
雪狼他/小山雄大
雪狼他/窪寺杏
炭焼きの少女他/神谷あすみ
演奏/小沢剛 演奏/黒木いづみ

〈本編〉

一郎/窪寺杏
三郎/小山雄大
嘉助/神谷あすみ
アンサンブル/三重野葵・森下彰夫
演奏・アンサンブル/小沢剛・黒木いづみ

わらび座とは…

わらび座は民族伝統をベースに、多彩な表現で現代の心を描き、日本のオリジナルミュージカルを上演する劇団です。1951年2月創立。現在、6つの公演・グループで年間約1,200回の公演を全国で行っています。その他にも、民族舞踊・太鼓・演劇など、様々なワークショップも行っています。また、劇団の本拠地・秋田県仙北市に、複合文化エリア「たざわこ芸術村」を展開。ホテルや温泉ゆばぼ、田沢湖ビールレストラン、森林工芸館の他、中核となる「わらび劇場」では1995年より常設公演を開始。大劇場・小劇場あわせて年間約300回、わらび座作品だけでなく海外招聘作品を国際交流事業として上演するなど、多彩なプログラムを上演しています。